

平成 22 年度一般会計当初予算説明資料

4 款 衛生費

2 項 環境衛生費

循環型社会推進課（内線：7564）→事業実施：産業振興総室

4 目 環境保全費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環境ビジネス交流会 事業	2,900	2,644	256				2,900	
トータルコスト	6,127千円（前年度 5,130千円）[正職員：0.4人]							
主な業務内容	企画・連絡調整、広報、交流会準備・開催							
工程表の政策目標（指標）	新たにリサイクルビジネスに取り組む企業の創出と県認定グリーン商品の新規認定 （企業の創出：年10社、グリーン商品の新規認定：年20品目）							
<p>事業内容の説明</p> <p>1 事業の目的・概要 環境ビジネスに関心のある企業・団体・個人等と既に取り組みを始めている企業・大学・研究機関等との交流を通して、新規参入がしやすい土壌作りを行う。</p> <p>2 主な事業内容 （1）交流会の開催 ①時 期：平成22年11月頃 ②場 所：県西部地区 ③主 催：鳥取県、（地独）鳥取県産業技術センター、（財）鳥取県産業振興機構</p> <p>（2）開催の内容 ①講演会 ②シーズ発表会 ③ポスターセッション ④展示会・商談会・相談会 ⑤企業情報交換会 ⑥環境ビジネス見学会</p> <p>〈参考〉 ※環境ビジネスとは、環境保全に資する技術、製品、サービス等を提供するビジネス。 （例：新エネルギー導入事業、環境配慮商品の製造、廃棄物・リサイクル事業 など）</p> <p>3 これまでの取組状況、改善点 【指標】新たにリサイクルビジネスに取り組む企業の創出：年10社 【現状】平成20年度 13社 平成21年度 19社</p> <p>【指標】県認定グリーン商品の新規認定：年20品目 【現状】平成20年度 23品目 平成21年度 183品目</p> <p>平成21年度は、企業訪問、交流会の開催等により、リサイクルビジネスに関心を持たれる企業が増えた。平成22年度は、開催期間を1日から2日間に拡大することにより、一層の環境ビジネス振興の土壌づくりを行う。</p>								